

木造家屋建築工事における解体用機械を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
2	14~15	木造建物（住宅及び蔵）を解体工事中に被災者が木片を拾っている際に重機オペレーターが排水枡をアイアンフォーク付バックホーにて撤去する際に被災者が急に排水枡近くの木の破片を拾おうとした時にアイアンフォークに挟まれ右手人差し指を負傷（切断）したものである。	21	—
2	9~10	工場現場において重機アタッチメント交換をする際、鉄筋棒を穴に差そうとしたが入りにくかったので、オペレーターが、アタッチメント部分を少し動かした時アゴに鉄筋棒が当たってしまいアゴを負傷した。	47	—
5	11~12	解体工事現場において、フェンス周りの土間コンクリートを除却するためブレーカーで掘削作業中、コンクリートの下が軟らかかった為か急に落ち込んだ際、土間に埋めていた鉄角柱にブレーカーを持っていた右手指を挟み負傷した。	45	1 ~ 9
9	11~12	集合住宅解体工事現場において、重機で廃材を分別中に、被災者が突然飛び込んできたことにより、頭部を重機に挟まれ死亡したものである。	40	1 ~ 9
10	14~15	アパート解体作業中、階段の鉄骨除却作業中、鉄骨のボルトを取る作業をするため移動中、重機で固定していた鉄骨が外れて、左太ももを負傷したものの。	61	1 ~ 9
10	16~17	木造住宅解体において、機械、人力併用で木軸の解体中に、重機オペレーターがグラフアタッチメント付き0.25?バックホウにて梁材（約6m）を持ち替える為に、梁材を掴んだところ、梁材が回転し他の廃材木材とぶつかり跳ね、近くで木材片を集めていた被災者踝に当たり骨折した。	65	1 ~ 9

10	9～10	家屋解体現場において、重機（解体用つかみ機）にて2階の木造スノコベランダを取り外す作業中、木造スノコベランダが予想以上に腐敗しており崩れた為、重機や家屋から十分に離れて廃材処理作業していた作業員の背中に木造スノコベランダの一部が落下し受傷した。	79	10～29
10	8～9	貸倉庫の電柱交換工事に於いて、新しい電柱（直径200mm）を建てるためサンダーでアスファルトに溝を作っていた際に、サンダーが引っ掛かって履いていた安全靴に刃が飛び右足、小指を負傷したもの。	50	1～9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html